



～資質・能力について考える～

カリキュラムマネジメントユニット

先日、1－2年生対象の共通LHにて『武生高校での学びを通じて、どのような資質・能力を培うか』ということに関して議論をしました。前半のワークショップでは、テキストマイニングを用いて集約した生徒の意見をみながら、教員同士でキーワードの組みあわせや、語句の追加を行なしました。今回用いた集約データは、PTA役員会でも議論されていたもので、『生徒』『保護者』『教員』の3視点から【育てたい資質能力の見える化】することができた気がします。今後、スクールプラン等に活用していく予定です！



交流会 ～総合型問題～

大学入試は大きく分けて以下の3種類に分類されます。

- | | | |
|----------|----------------|---------------|
| ①一般選抜 | 大学入学共通テストと個別試験 | 当日の学力試験が重視 |
| ②学校推薦型選抜 | 面接、小論文、学力検査 | 高校の成績、活動などが重視 |
| ③総合型選抜 | 面接、学力検査 | 高校の成績、活動などが重視 |

大学によっても異なりますが、総合型問題は②、③の選抜において出題される傾向が大きいです。

今回の交流会では、文系科目と理系科目にグループを分け1つ総合問題に対して【(問題を解くために)どのような力が必要か?】という議論を行ないました。総合問題は、1つの事柄に対しさまざまな角度(高校で学んだ教科・科目)で考察し、自分なりに筋道を立てて説明するものや、事前講演の内容に関して討論をして自分の意見をまとめる等といったものが多い印象でした。その後、【総合問題を解ききる力を育むには授業をどう変えれば良いか?】という内容でフリートークを行ない、出た意見を皆で共有しました。やはり、物事を多角的に考える【教科横断的な思考】の必要性を改めて実感します。



【あなたならどう答える?】

21世紀における宇宙産業の発展には、科学技術の発展に加えて社会情勢の変化が大きく寄与している。科学・社会両面での具体的な事例をそれぞれ挙げて、それがなぜ宇宙開発を後押しする結果になったのか簡潔に説明せよ。

神戸大学「志」特別選抜より引用